

『転がり方が違うよ』

エピソード

伏見スライダーの下からペットボトルやテープ芯を転がして遊んでいました。Aくん「指ではじいたら上の方までいったよ」と、Bくんや保育者にはじき方を見せていました。Bくん「どうやってるの？」とAくんに尋ねると「指に力を入れてやってみて」と伝えていました。①「人差し指に力を入れてやってるんだって」と、Aくんのはじき方を伝えると、Bくん「できた、前より上までいったよ」と、大喜びしていました。周りの友達も「やってみたい」と、同じようにはじき始めました。Cちゃん「力を入れた方が、上の方まで転がるよ」と、力の入れ具合で転がる距離が変わることに気付くと、Aくん「力を入れた方が、キャップが速く回ってる」と、それぞれに気づきを伝え合っていました。そこでAくんはコルクを持ってきて「これもはじくと速く転がるのかな？」と、キャップと同じようにはじきました。すると、コルク自体がスピンし回転しました。その様子を見て「キャップと転がり方が違うよ」という発見に②「どんなふうにはじかった？」と尋ねると「クルクル扇風機みたいに回った」と、キャップとは違う回り方に驚いていました。「コルクの回り方面白い」と、同じようにはじいてもものによって転がり方が違うという発見を楽しんでいました。

4歳児 1月 伏見こども園

子どもの育ちや学び

ギュッと押さえて
はじいてみて



- ・友達のはじいて遊ぶ様子に興味をもち、指先を見ながら、仕方を知ろうとしています。
- ・友達に方法を見せながら言葉と一緒に方法を知らせようとしています。

速く回ってる！
見て！

- ・力加減で転がる距離や速さが変わることを友達と伝え合い、転がり方に注目しながら繰り返し試して遊んでいます。



コルクは
回り方が違う！



- ・はじき方が同じでも、ものを変えることで、転がり方も変わるという発見がありました。
- ・転がり方を言語化し伝える様子もありました。

保育者の思い

- ・友達がしていることを真似てみたいと思う気持ちを大切に、言葉と方法を見せて伝える姿に言葉を補い仲立ちをしました。
- ・力加減を変えることで転がる距離や速さなどの気づきに共感し、それぞれに方法を試しながら遊んでほしいと思い、繰り返しはじく様子を見守りました。
- ・転がすものを変えることで、転がり方が違うという発見と一緒に驚きながら、友達と共有できるように転がり方を伝えられるようにしました。

家庭だったら・・・

興味をもったことや方法を人に聞き、自分のものにしていこうとする姿があると思います。いろいろなことに興味をもち、吸収する力を子ども達はもっています。小さな気づきや発見にも共感し「どうして?」「なんで?」と思い考える時間を大切にしてみてください。